

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎0258(0)89-3111)

補聴器相談会

左記日程で補聴器の修理、点検調整及び正しい使い方の説明などの相談会を行います。日頃から耳の聞こえ、補聴器の具合でお悩みの方は、おさそい合せのうえおこしください。なお、身障、戦傷手帳をお持ちの方は、その手帳と印鑑をご持参ください。

日時 七月四日(土)
午前十時～十一時三十分
場所 末広荘

第二十回北魚沼郡青年研修

参加者募集!!

- 一、期日 八月八日(土)、九日(日)
- 二、会場 長野県飯山市斑尾高原
ドゥ・スポーツプラザ
於斑尾(バスで送迎)
- 三、参加資格 町内居住の勤労青年
- 四、募集人員 五名程度
- 五、申込み期限 七月十日
- 六、内容等 郡内他町村の青年との

よく存知ですか 建設業関係の皆さん

「建設業退職金共済制度」をご存じですか。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。退職金は、国の交遊仲間づくり、レクリエーション、スポーツ、デイスカッションなどを予定しています。

※詳細は町教育委員会社会教育係へお問い合わせください。(☎025-311-111)

現在、全国で十二万の事業主、百六十五万人の労働者が加入して、四十万人の労働者が退職金を受けとり、その額は七百八十二億円を超えています。

詳しいことは、新潟県建設会館内建設共新潟支部へお問い合わせ下さい。(☎025-89722)

来園して、体育館前と駐車場に植樹いただいたもので、赤い花を咲かせ訪れる人を楽しませています。



▲植樹する東北電力小千谷営業所の皆さん

運動公園に さつきを寄贈

東北電力小千谷営業所では、サービス旬間にあわせて、さつきを十五本町運動公園に寄贈された。

五月二十九日、増山所長さんをはじめ、所員の皆さんが

こしかぜ号が 舞おる



6月24日、子供たちの交通安全指導のため県警ヘリコプター「こしかぜ号」が田妻山小を訪問。
同小と木沢小の児童のほか町内の保育園児も参加して交通安全を誓いました。

停電のお知らせ

- 7月13日(月) 13:00～15:30 武道窪
- 7月17日(金) 9:30～12:00 和南津一部
- 7月27日(月) 9:00～11:30 岩出原
- 8月7日(金) 13:00～15:00 荒谷

ご協力ください。

人口	6,541 人	昭和62年7月1日現在
男	3,206 人	
女	3,335 人	
世帯数	1,513 戸	

おもな内容

- 川口町は今年で30歳……………2～3
- 川口まつり行事案内……………4～5
- 川口町の教育計画……………6～7
- 郷土の歴史を綴る……………8
- ほくたちスポーツ少年団……………10
- スポーツコーナー……………11
- 健康コーナー……………12
- お知らせコーナー……………13～14

レッツラブカワグチ 川口町は

今年で30歳

KAWAGUCHI 1957⇒1987

30周年 記念事業

狛江市と「ふる里友好都市」提携

文化、教育、スポーツ、産業など各分野の交流を行い、友好を深め、両市町の発展に寄与するため「ふる里友好都市」の提携を行います。

7月25日は狛江市長、狛江市議会議員など多数をお招きし調印式を行います。

記念式典

町制施行30周年記念式典、及び総合竣工式を、7月25日(土) 11:00から行います。



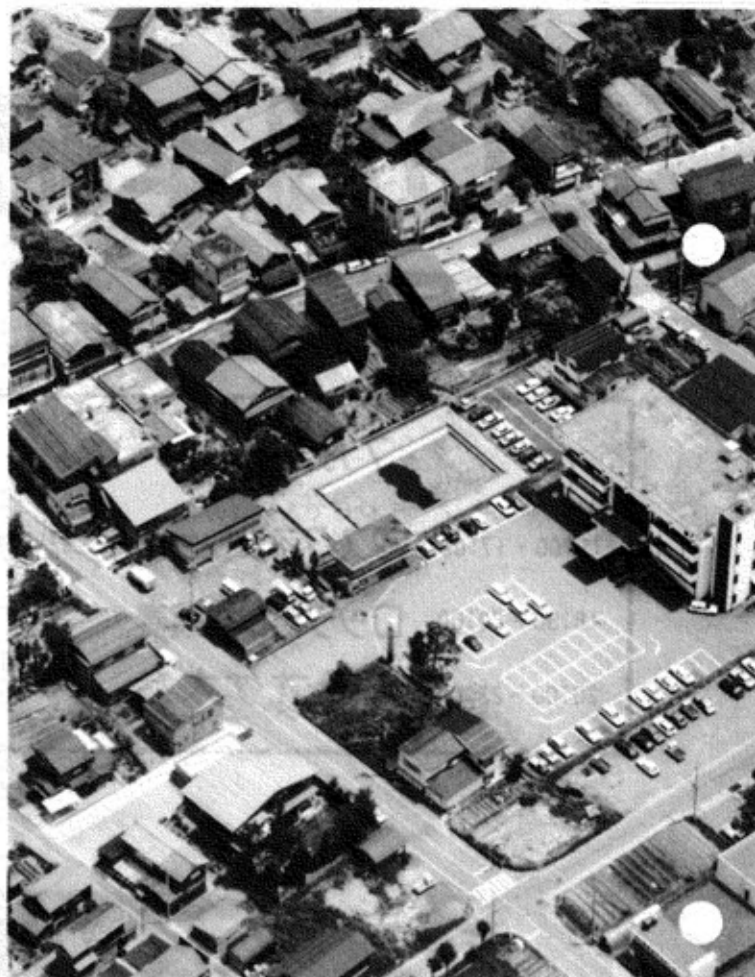
町の花
「**芝ざくら**」

町制施行30周年実行委員会議で町の花は「芝ざくら」と決まりました。



町の木
「**さくら**」

町制施行30周年実行委員会議で町の木は「さくら」と決まりました。



この町は君が住む町創る町

昭和二十九年、田麦山村、古志郡東山村の一部木沢、峠を合併、昭和三十一年八月一日町制施行により川口町が誕生して今年で三十年になります。
この間、めまぐるしく変化する社会、経済情勢の中で、幾多の試練をのりこえ、災害などの苦難苦節を克服し、町づくりを力強く進め、大きくすばらしい発展をとげました。
この三十歳の誕生日を皆んなでお祝い、この記念すべき節目の年を未来に向けて新たな決意の宣明により更に大きく飛躍しようではありませんか。

記録映画の製作

現在の川口町(姿)を記録し
後世に伝える。
16ミリカラー 保存版

記念樹の植樹

町内各小・中学校・保育所に町の木「さくら」を植樹します。

記念誌の発行

「30年の歩み」を発行し各世帯に配布します。

記念ハガキの発行 (記念スタンプ)

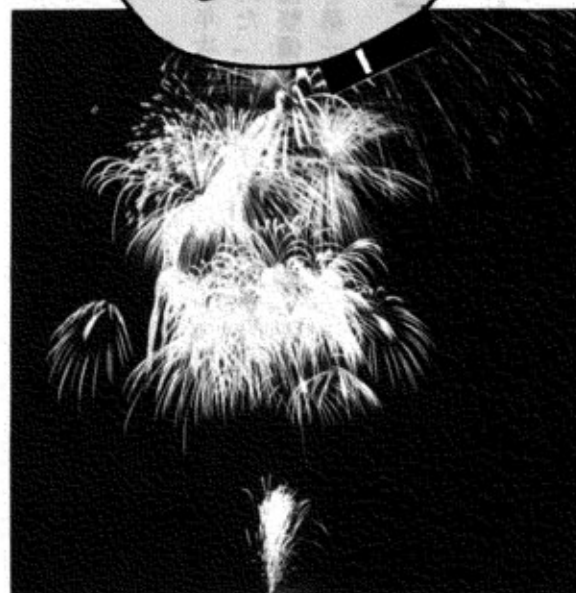
川口町の風景などを内容とした記念ハガキを発行し、各世帯に配布します。
(5枚1組) (川口町と川口郵便局協賛)

華やかに彩る



川口まつり

町制施行



7月26日(日)

9:30~10:00	川口あおり太鼓	お祭り広場
9:30~11:00	武者行列	東部 一円
14:00~16:30 19:00~21:30	万灯行列	町東部 一円
15:00~17:00	みこし渡御 婦人みこし 田麦山若衆みこし	東部 一円
17:10~17:50	子供棒おどり 子供天神ばやし トランペット鼓隊	お祭り広場
20:00~21:30	大民踊流し	東部 一円
9:00~22:00	お祭り広場	
10:00~16:00	消防コーナー	お祭り広場
10:00~16:00	テレホンコーナー	お祭り広場

オンパレード

7月26日(日) 10:30~

交通安全パレード(県警音楽隊、カラーガーズ)
鼓笛パレード(町内小学校児童)



夏のイベント

7月25日(土) 26日(日)

30周年記念

行事案内

7月19日(日) 6:00~8:30
町民ファミリーマラソン大会
川口中~田麦山

7月20日(月) 9:30~12:30
老人ゲートボール大会
運動公園

7月25日(土)

15:00・17:00	テレビで人気者の マスクマンショー	お祭り広場
18:30~20:00	ロックバンド演奏	//
20:00~22:00	カラオケ大会	//

7月23日~7月26日

ボンボリ献灯 東部 一円
街頭作品展 東部本町通り

7月25日(土)~26日(日)

花火大会 (魚野川河畔)

夜 20:00~

30周年をお祝い両日打上げます。



川口町の教育計画

次の時代を担う子供たちに 教育に



▲ 泉水小移転新築 58年2月完成



▲ 木沢小新築 59年1月完成



▲ 川口小大規模改修(普通教室棟) 体育館、食堂 61年12月完成

昭和五十六年にスタートした学校教育施設整備計画(五カ年計画)では、泉水小の新築移転(五十八年二月)に始まり、木沢小(五十九年一月)、田麦山小(五十九年十二月)がそれぞれ新築完成により、木造の校舎、体育館が近代的な永久建物に生れかわり、計画

3 教育環境飛躍的な前進 近代的な永久校舎に

が達成された。又、昨年の川口小学校舎の大規模改修、体育館、食堂の完成により、町内全小学校の教育環境は飛躍的に改善されました。次の時代を担う子供たちがのびのびとして勉学に励む環境の場が大きな前進を見た。



▲ 田麦山小新築 59年12月完成



▲ 学校給食センター 59年9月完成

供たちの 向けて



次の時代を担う子供たちによりよい環境——を。それは私達(親)皆んなの願いです。町は、目標年次を昭和六十五年と定めた「第二次学校教育施設整備計画」を策定、昨年度を第一年次とし、

1 第二次整備計画のねらい 未来性のある学校に

第二次学校教育施設整備計画では、急激な社会変化や技術の進歩、高度情報化などにより新たな視点から教育内容の充実に対処すべき課題が生じていることに照し、未来性のある学校施設の充実整備と新しい教育に対応できる教育機器の導入、教材及び教材備品等の整備を計画策定の骨子としています。

川口町学校教育の充実と教育水準の向上を目指し、スタートしています。この第二次整備計画の主な内容と実施中のもの及びこれまでの事業(成果)をまとめて特集いたしました。

2 川口中学校食堂新築 十一月完成を目指し着手

六月十九日、川口中学校食堂新築工事の入札が行われ、十一月完成を目指して建設が始まりました。昨年完成した川口小の食堂に続いて、ユニークな食堂が校舎脇の生徒自転車置き場の所に建設されます。同食堂は、三階建て各学年

ごとの専用食堂としてはばかりでなく、放送設備、スクリーンなどを備え、生徒会やクラブ活動による会議や研修の場としての機能(講堂)を有しています。食堂の完成により、生徒、先生が一堂に会して楽しい食事の場として、生徒間及び先

生と生徒のコミュニケーションの場として、うるおいのある学校生活と明るい社交性を培い心身の健全な発達が教育の目的実現につながるものと期待されています。

建設概要	
1. 建築面積	212㎡
2. 延床面積	558㎡
3. 構造	鉄筋コンクリート造



川口町農業委員会委員一般選挙 7月12日は投票日です

- 選挙による委員の定数 10名
- 選挙権を有する者 選挙人名簿登録申請書により昭和62年1月1日現在で調整し、3月31日で確定した者。

ヤング紹介 ④6



荒屋 星野ゆかりさん

マイペースでファイト～一発!!

- Q 趣味は何んでしょうか。
A 身体を動かすことです。
Q 休日は何をしていますか。
A のんびりしています。
Q 理想の異性像は？
A 私よりも腕の太い人。
Q 若さの証明とは何んですか。
A 夢を追いかけようとするこ
と。
Q 今の仕事の満足度は？
A 70%
Q 町への要望はなにかありま
すか。
A 若い人も居られるような環
境の設定。
- Q 好きな“ことば”は？
A “ファイト一発！”
Q いちばん嫌いなのは？
A 自分よりもっとワガママな
人間。
Q 将来の夢を一言どうぞ。
A 他人に流されず自分のペー
スで生活していきたいです。
Q 川口町が都会よりよいと思
うところはなんですか。
A ごみごみしてなくて、の
んびりしたところ。
Q 最後に自己アピールを！
A UターンしてきたOL1年
生です。どうぞよろしく。

郷土の歴史を綴る

(郷土歴史愛好家) 佐藤 栄氏

町制施行当時を振り返って

ふるきをたずねて 新しきをしる
温故知新(一)

十年ひと昔という言葉があるが、十年とは、大変な時の流れである。まして、昨今のような激しい時流の変化は、「十年ふた昔」という言葉も巷で使われている。さて、今年は今町にとつて、町制三〇周年という誠に意義深い年を迎えた。この大きな節目の年に当り人それぞれの思い出があるはずである。「故きを温ねて、新しきを知る」ことも大切なことと思っている。そこで、町制施行(昭和三十一年八月)当時を振り返ってみたい。

まず、町民の人口、戸数について見てみよう。

一、人口と戸数

戸数	年別	
	昭和三十一年 (川口町史)	昭和六十二年 (公報川口六月号)
一、三三三戸	一〇、九二一人	六、五八八人
一、三三三戸		

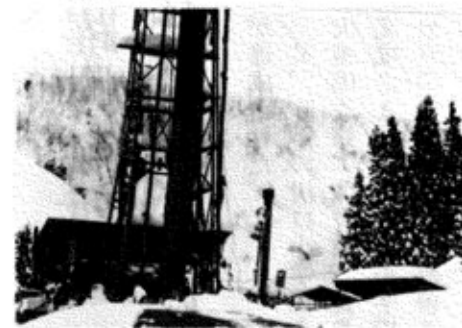
人口の激減は、全国的にそうであるように、出生率の低下と過疎化現象を如実に示し

ている。幸にも、住居内容に違いがあっても、戸数減は免れている。

また、人口減の要因の一つに、時代を反映している点が見つか思出され、時の流れを感じさせられる。昭和三十一年、石油資源開発株式会社(田山)に鉱油所を開設した。従業員九〇人が働き世間の注目を浴びていた。また、当時は、鉄道輸送の全盛期であった。鉄道関係従業



員が一四〇人も働いていた。そして、中山地区には、長野搬送管理所川口電話中継所があり、一〇人ほどの職員が働いていたのも思い出させられる。次に、学校関係について見



▲田山油田鉄塔

二、学校の内容

(一) 小学校

学校別	昭和 32 年		昭和 62 年	
	学級数	児童数	学級数	児童数
学 校 名	7	280	6	123
川口小学校	9	345	13	347
西川口小学校	6	255	川口小学校へ統合、廃校	
和南津小学校	3	98	川口小学校へ統合、廃校	
田山小学校	6	165	6	96
田山小学校小高分校	3	54	田山小学校へ統合、廃校	
田山小学校小高分校	2	38	集団離村で廃校	
合 計	41	1,346	28	582

(二) 中学校

学校別	昭和 32 年		昭和 62 年	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数
学 校 名	10	455	8	273
川口中学校	2	37	川口中学校へ統合、廃校	
田山中学校	3	98	川口中学校へ統合、廃校	
田山中学校	1	16	川口中学校へ統合、廃校	
合 計	16	606	8	273

ほっとウィーク

1週間以上の連続休暇

日本の夏をリラックス

ゆとりのある豊かな生活を目指す

「日本人は働きすぎる」

と外国人から、とりわけ貿易摩擦が問題になってきている相手国から指摘されることがよくあります。欧米諸国に追いつく過程では、ガムシヤラに長い時間働くことも必要でした。しかし、今や日本は、世界でも最も発展した経済力をもつようになっています。これにふさわしい働き方に変えて、ゆとりのある豊かな生活を目指す必要があるのではないのでしょうか。

働きすぎを

一挙に解消

とここで、いよいよ夏本番

学校の統合、廃校は、町当局の行政指導と地域住民の理解と協力が必要であった。現在、町内にある五カ校の小中学校は、すべて近代的な校舎に変わり、立派な教育環境になっている。

三、文化財を大切に

過ぎ去った三十年の歳月は官民一体となつてがんばった三十年間であった。

戦後の復興から経済の安定へと移り変わると、学校がそうであるように、人々の生活環境も大きく変わった。そして、貴重な文化遺産が、つぎつぎと失われた三十年間でもあったような気がする。現世利益の追求もよいが、常に意識して貴重な文化財を守りたいものである。(続く)

今回は、記念すべき年に当り、郷土歴史愛好家佐藤栄さんから特に執筆していただきました。

佐藤さんは、川口町史編さん委員として活躍され、町文化財審議委員、民生委員もつとめています。

です。

高温で湿度の高い日本の夏は疲れやすく、ことに真夏日や熱帯夜が続くと仕事の能率も低下しがちで、夜は寝苦しく睡眠不足から体調を崩すことも珍しくありません。

プロ野球で活躍する外人選手のうちばんの敵は「日本の夏」といわれるほどで、梅雨から盛夏にかけての体調コントロールが年間成績を大きく左右するのです。

夏場の健康管理が大切なのはわたしたち日本人も同じです。

この時期には、明日への活力を養う「充電期間」として一週間以上の連続休暇「ほっとウィーク」がほしいところです。

ホットな夏に仕事を離れ、ほっと一息つける時間の中で心身の疲れをいやすとともに家族そろってのレクリエーションもまた楽しく、家庭生活の充実という面でも大きなプラスです。

働きすぎを一挙に解消—あなたも、ほっとウィーク。で日本の夏をリラックスさせませんか。

ピンポン

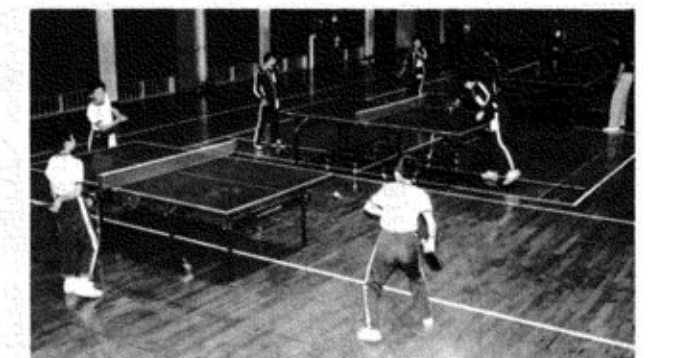
スポーツの町宣言 ぼくたちスポーツ少年団 変化球、スピード、軽快なフットワークで カット！ 豪快なスマッシュ！



我が卓球教室の始まりは、中学生からの要望によりスタートしました。最初は、五人位のメンバーでしたが、除々に増え十五人となり、毎週木曜日に、練習を重ね、各大会にも出場し好成績を上げてきました。昭和五十七年五月、スポーツ少年団が結成され現在は、メンバーは二十五名です。他のスポーツ少年団は、小学生が主体となっています。

我が卓球スポーツ少年団は、中学生、高校生が主なメンバーです。やりがいがある反面心配でもありません。練習は、まずランニングで体育館を五周し、柔軟体操で体をほぐして、フォア、クロス、ショート、ツツキ、スマッシュの基本練習と続きます。一時間位やるのでいい汗を流します。

卓球には、いろいろな特徴があります。卓球の場合には、大きく分けて六つあります。一、プレイの領域が狭い。二、対人距離が近い。三、インパクトの重要さ。四、スピード、回転、ボールのコースに変化を伴う。五、複雑な運動の連続。六、激しいエネルギーが求められる。スポーツは、人に強制されてやるものではありません。好きであるほど好きであることが大切です。厳しい練習にも負けずそして堪え、上達していくことでしょう。



わがスポーツクラブ 紹介

卓球

- Q クラブ、サークルの設立年月日は？
- A 昭和56年5月6日
- Q 設立の動機は？
- A 卓球協会があり、そして卓球の好きな子供達を教え後継者育成。
- Q 会員数は？またそのメンバー構成は？
- A 25名 (中学生・一般)
- Q 練習日、時間、練習会場は？
- A 毎週火曜日 PM7時~9時 福祉センター
- Q いま、クラブ、サークルの活動で目標にしていることは？
- A 基本を中心にして応用を取り入れ、大会で上位入賞。
- Q クラブ、サークルのメンバーの技術の状況は？
- A オールマイティーですばらしい子供達なんですけど勝負魂(ガッツ)がない。
- Q 最後にクラブ、サークルのPRを！
- A おこられても、なぐられても、毎週みんなやって来ます。それだけに楽しさ、苦しさがありますが、みんなでもいい汗をかきましょう。

町スポーツ少年団

郡大会で大活躍!!

大淵理絵さん優勝 女子剣道個人戦

第十回北魚沼郡少年少女剣道大会は六月二十一日、川口小学校体育館で百三十人の選手が参加して開かれ、大淵理絵(田麦山小 六年生)さんが見事優勝を果たした。又、女子団体戦では三位に入賞した。優勝は、個人及び団体戦を通して、スポーツ少年団剣道会では初の快挙。同父母の会の喜びもひと汐でした。なお、優勝者には県大会出場権が与えられる。



▲郡内の少年少女剣士が集合 6/21 於川口小体育館

柔道も上位入賞

団体戦二位

スポーツの町宣言

六月十四日、入広瀬村で開かれた郡柔道大会の団体戦で二位に入賞した。日頃の練習の成果と持てる力を十分発揮したスポーツ少年

団、次回もガンバレ!!

郡中学校

球技大会成績

六月二十三日行われた郡大会における川口中学校の成績は次のとおりです。
野球 三位
庭球(団体戦) 三位(男女共)

この日は子どもたちがガンバリ、父ちゃん母ちゃんがハリキル!

カメラリポート



▲6/7 於川口小 大玉送り



宣誓
さいごまで
いっしょう
けんめい
ガンバリ
ます!

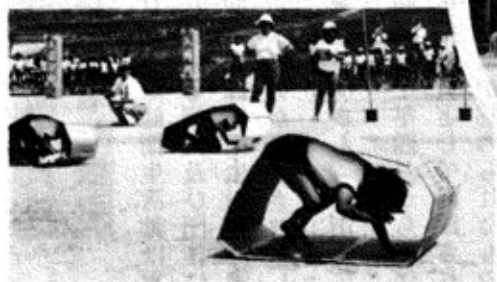
運動会訪問



▲6/7 於木沢小 風船に短冊つけ...



▲6/7 於木沢小 老いも若きも



▲6/7 於泉水小 モグラの散歩

町制施行30周年記念事業 主催 川口山の会
町民登山 浅草岳 参加者募集

夏の浅草岳から田子倉湖をながめてみませんか
どなたでも歓迎します(小学生以上)

- 期日 7月5日(日)
- 集合 川口町役場前・午前5:30
- 会費 1,000円

○申込、問合せは
メグロ理容院 (☎89-2140)

川口まつり 街頭作品展
作品を募集しています

- 申込先 町教育委員会
- 申込期限 7月20日

写真・絵画・書道など多数の出品をお待ちしています。

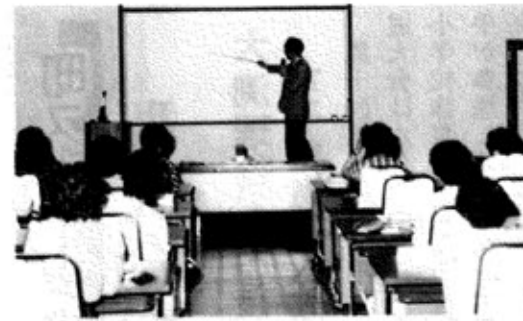
健康

胃ガンに打ち勝つ!!

毎年胃集団検診を 早期ガン八十%治る

中村先生が講演

「胃ガンに打ち勝つ」と題して……六月三日、サンローラ川口で小千谷総合病院の中村先生が講演されました。中村先生は胃のレントゲン読影の専門家で、胃ガンの発見に大きな功績のあった先生です。



▲講演する中村先生 6/3 於サン・ローラ川口

当日は、保健推進員など五十余名が参加し、熱心に聞き入っていました。お話しによると、死亡率の中でガン(悪性新生物)が一位を占め、新潟県は昭和五十九年一位、六十年は二位(一位山形県)で東北、北陸地方に胃ガンが多く、胃ガンによる死亡率は全国の二倍に達している。胃ガン患者の中で、早期胃ガンの割合は外来受診で発見された人よりも、集団検診で発見された人の方が高く、魚沼地域では最近検診受診者が七〇%増加している。

早期ガンのうちに発見して手術すれば八〇%以上治ることです。具合が悪くなってから受診する前に、健康のうちから毎年胃の集団検診を受けて確認してください。

胃ガン発見年齢の割合

40代	1,000人に1人
50代	500人に1人
60歳以上	100人に1人

*男性は女性の3倍発見されている。

ガン予防のための12ヶ条

- ①偏食しないでバランスのとれた栄養をとる。
- ②なるべく同じ食品を繰り返して食べない。
- ③食べすぎを避ける。
- ④深酒はしない。
- ⑤喫煙は少なくする。
- ⑥適量のビタミンA、C、Eと繊維質のものをよくとる。
- ⑦塩辛いものを多量に食べない。余り熱いものはとらない。
- ⑧ひどく焦げた部分は食べない。
- ⑨かびの生えたものは食べない。
- ⑩過度に日光に当たらない。
- ⑪過労を避ける。
- ⑫体を清潔にする。

雇用に新しい助成制度が

スタート

四月一日から施行された地域雇用開発促進法により新しくスタートした制度です。

この制度は、労働大臣が指定する雇用開発促進地域で、事業所の設置又は整備(その費用、五百万円以上に限る)をして、その地域に居住する人を一人以上公共職業安定所の紹介により、常用労働者として雇入れた雇用保険適用事業主に対して助成する制度です。

① 地域雇用奨励金

賃金の三分の二(大企業二分の一)を一年間助成する制度です。

例えば、月額賃金十五万円の人を二十五人雇入れた場合、一年間の人件費は四千五百万円となります。その三分の二の三千万円が支給されます。

② 地域雇用特別奨励金

雇入れた労働者が五人以上

(小規模企業の場合は三人以上)で雇入数と費用に応じて三回(三年)にわたり最高三千万円まで助成する制度です。

例えば、五千万円の費用で二十人を雇入れた場合、一回目一千万円、その後一年ごとに計三回、三千万円が支給されます。(別表参照)

③ 地域移転給付金

他の事業所から従業員を移転させ、その費用を負担した場合、その実費相当額を助成する制度です。

※①～③はいずれも、事業所の設置又は整備して、地域の求職者を雇用し且つ操業開始の事業所が対象となります。

④ 申請の方法

事業に設置・整備及び雇入れ計画書を職業安定所に提出してください。

●雇用開発促進地域
長岡、柏崎、小千谷(小出張所除く)、十日町などの各職業安定所管轄地域が指定されており、指定期間は、昭和六十七年三月三十一日までの五年間です。
詳しいことは、小千谷職業安定所 ☎(八二三四)にお問い合せください。

思いやる心

地域社会とボランティア
東京・小金井市に「幼老クラブ」という珍しい会があります。

市内にある八十の子ども会が、老人との交流を盛んにすることを目的にして始めたもので、地域の老人を招いて「花見の集い」や「もちつき会」など数多くの会合を開いています。この交流会は、今から十七年前の昭和四十五年に始められ、最近では三世代交流や老人とお便り交換など幅広い交流へと発展しています。

老人に対して

尊敬の気持ち

子どもたちがお年寄りと一緒に接して感じたことは、両親も知らない「知恵袋」を老人が持っているということでした。

子どもたちはお年寄りから竹馬やわらぼうりの作り方を教わりました。父親も一緒に

すごい! お年寄りの「知恵袋」

習いました。手打ちうどんや「すいとん」の作り方も教わりました。お年寄りの作ったものはお母さんのそれよりも数倍おいしくできていました。雑布づくりをした時、生地は化繊でなく「もめん」でなければならぬことも教わりました。

歩け歩け運動から名所・旧跡の由来を教わりました。子どもたちは「お年寄りって、すごいなあ」と感心するようになり、老人に対して尊敬の気持ちを抱くようになりました。

やがて子どもたちは、敬老の日に菊の花を持って、お年寄りの家を訪ねたり、一人ぐらしの老人へ、便りを出したりすることが自然に振る舞えるようになりました。道で出会ってもあいさつを交せるようになりました。



保健衛生実践 活動者に表彰

日頃、保健衛生活動に貢献されている個人及び団体に、今回、郡保健衛生対策協議会から次の方が表彰されました。

●渡辺イツさん(中山 58歳)

昭和五十年四月から町保健衛生推進員として活躍され、その貢献が認められたもの。

●(南)おほせ自動車修理工場
代表者 生越千里(川口)

事業主及び従業員による会社ぐるみの献血事業に対する功労が認められたもの。

献血で守る 尊い命

●7月は「愛の血液助け合い運動」です●



家族そろって 参加を!!

川口町健康フェア

町制施行30周年記念事業

〈催し物のご案内〉

- 体力づくりコーナー (自分の体力を測定してみませんか)
- エイズコーナー (エイズって?)
- 成人病予防コーナー (特にガンについて)
- 薬草コーナー (いろいろな薬草の実物展示)
- 福祉コーナー (介護品の展示)

- 日時 7月5日(日) 午前10:00～午後4:00
- 会場 川口町総合福祉センター、町民文化会館
- 主催 川口町
- 料理の展示・試食コーナー (試食会は午前10:00からです)
- 映画コーナー「銀河鉄道999」「リボンの騎士」を上映します。